



▲新聞エコバッグの作り方を説明する生徒。

## 地域の人に活動を披露

学校活動を地域の人に広く知ってもらおうと12月6日、松江養護学校安来分教室で地域参観日が行われました。

開設10周年となる今年は「10周年を祝う会」を同日に開催。式典に続いて教室には、日頃の活動で取り組んでいる作品の販売や体験・展示コーナーなどが設けられました。この内、小物作り体験コーナーでは普段の活動で取り組んでいる新聞エコバッグや王冠マグネットの製作体験を実施。講師となった同校の生徒たちは、来場者に作り方のポイントを丁寧に教えていました。



## 安来節で金メダルを受賞

11月に和歌山県で開催された第32回全国健康福祉祭（ねんりんピック紀の国わかやま2019）の民謡交流大会に出場した岩佐光恵さん（安来節：唄）が最優秀賞に選ばれました。同祭は60歳以上の人を対象とした健康と福祉の祭典です。11月25日には岩佐さん等が近藤市長を訪れ、受賞の報告と大会で唄った安来節を披露しました。

同大会には全国から62人が参加。島根県代表として安来節を唄う岩佐さんは、岩佐勝雄さん（絃）、

# たっぴくす



まちの話題や出来事をご紹介します



このマークの記事は、関連写真を「市公式フェイスブック（FB）」で公開しています。



スウェーデントーチでマシュマロ焼き。丸太に切込みを入れたたき火の一種で、北欧では昔からかがり火として使われていました。（農林業祭11月17日）

今月の一枚



◀近藤市長ら関係者を前に市長室で当日に唄った安来節を披露する岩佐さん（中央）。

吉野和夫さん（鼓）とともに出場し、見事金メダルを獲得しました。岩佐さんは「他の民謡では見られない唄と三味線と鼓とが一体となったところが評価されたと思います。当日は島根の良さを広めるつもりで安来節・神楽・神在月などの言葉が入った歌詞を選んで唄いました」と話していました。

今回の受賞で安来節を全国に広めた功績をたたえ、安来節保存会会長である近藤市長から3人に感謝状が贈られました。





大ハノラマが広がります。山頂付近。後ろには町並みの大ハノラマが広がります。

## 本丸を目指してウォーキング

かつて中国地方を治めた尼子氏の居城となった月山富田城跡。その魅力を広く知ってもらおうと11月23日、同城で「第6回安来・月山戦国ロマンウォーク」を開催しました。

秋晴れの中、参加者約300人は本丸へ向けてウォーキング。途中の山中御殿では、出雲尼子を興す会の武者隊による演舞が披露され、戦国ロマンをさらにかき立てました。山頂に着くと参加者は、眼下の景色をゆっくりと眺めたり写真を撮ったりして秋の散策を楽しんでいました。



望遠鏡をのぞき込む参加者。

## ハクチョウが来る貴重な場所

湖や平野などがある市内の貴重な環境を知ってもらう水環境学習ツアーを11月16日、小学生を対象に開催しました。宇賀荘地区では水張り田んぼに飛来するハクチョウを観察。米子水鳥公園の米田洋平指導員からは、「ここにはお米があるから飛来します。人間の生活とハクチョウが共存している身近なところですよ」と、貴重な場所であることなどの説明を受けていました。大島煌月さん（小学4年生）は「望遠鏡で観察すると口ばしの色や形まではっきり見えました。3種類のハクチョウを確認することができました」と話してくれました。

## アルテピアでテロ対策訓練

ホールでのイベント中に不審者発見ー。

総合文化ホール アルテピア内で発生したテロを想定した訓練が11月15日に行われました。当日は同施設をはじめ安来警察署、安来市消防本部等の職員が参加し、来場者の誘導や各機関の連絡体制の確認、負傷者の救出などを訓練しました。

令和2年は東京オリンピック・パラリンピック、島根県では全国植樹祭などの大きなイベントを迎えることから、万が一に備えて対処能力の向上を図ったものです。



特殊な保護服を着て負傷者を救済する消防隊員。

## 農林業祭で恵みを満喫

安来の豊かな恵みを知ってもらおうと11月17日、伯太庁舎周辺で農林業祭を開催しました。農林水産業団体や加工品業者、環境保全活動などに取り組む団体が46ブースを出店し、旬の味覚や作りたての加工品などを販売していました。当日の天候が快晴であったこともあり、会場には朝から多くの人々が来場。昼前には売り切れる品物があるほどでした。

一方、体験型イベントではバターやハーバリウム作りをはじめ、農産物の重さ当て競争などが行われ、多くの人々が楽しみながら自然の恵みを満喫していました。



▲米のすくいどりに挑戦する来場者。